

北条

HOJO

Women who lived in Kamakura

政子

MASAKO

鎌倉を
生きた
女性たち

— 没後八〇〇年 —

2025 — 12.13 (sat) — 2026 — 2.28 (sat)

主催 鎌倉歴史文化交流館（鎌倉市教育委員会）

開催期間 令和7年（2025）12月13日（土）
令和8年（2026）2月28日（土）

開館時間 10時～16時（入館は15時30分まで）
休館日 日曜・祝日・休日・年末年始

観覧料 一般 400円（300円）（小学生）150円（100円）※
住所 〒248-0001 鎌倉市扇ガ谷1-5-1

アクセス JR鎌倉駅・江ノ電鎌倉駅から徒歩約7分

TEL 0467-73-8501 FAX 0467-73-8545

Eメール rekibun@city.kamakura.kanagawa.jp

※「」内は20名以上団体料金※本料金で本館平常展示もご覧いただけます。

※身体障がい者手帳の交付を受けた方と付添1名、鎌倉市に通学している小学生から大学院生及び市内
在住の方は観覧料が無料となりますので、受付に身分証・手帳・学生証・カード等を提示してください。

※一般用の駐車場はございませんので、お車での来館はご遠慮ください。

※障がい者等用駐車場をご利用の方は事前にご連絡ください。

www.city.kamakura.kanagawa.jp/rekibun/koryukan.html

鎌倉歴史文化交流館
Kamakura Museum of History and Culture

北条政子

HOJO

MASAKO

Women who lived in Kamakura

嘉禄元年（一二二五）七月十一日、北条政子は六九歳でその生涯を閉じました。前年には弟の北条義時が、同年には重臣の大江広元が亡くなっています。源頼朝亡き後の幕府を支えた人々が次々とこの世を去ったことで、鎌倉は大きな節目を迎えることになりました。

政子の死から遡ること約五〇年。政子の運命は、伊豆に流されていた頼朝との出会いによって大きく変わりました。伊豆国に育った二人の女性は、やがて將軍の御台所となり、頼朝の死後は「後家（家長権の代行者）」として幕府を支えました。さらに三代將軍実朝の死後には「尼將軍」として幕府政治の実権を握り、動乱の鎌倉を導いていきます。同時代の僧・慈円は「愚管抄」で、政治家政子と京都の藤原兼子が面会し政治を動かす様子を、「女人入眼ノ日本国（女性が仕上げる日本）」と評しています。

一方で、政子は娘と息子を慈しみ、母としての顔を持つ女性でもありました。晩年には、非業の死を遂げた息子実朝や、二〇歳の若さでこの世を去った娘大姫のために、勝長寿院の傍らに新たな伽藍や自身の持仏堂と御所を建て、追福の日々を過ごしています。

本年は、北条政子の没後八〇〇年にあたります。本展では、政子の生涯をたどりながら、中世の鎌倉を生きた女性たちの姿と社会のありようを紹介します。



北条政子坐像 大正時代（安養院所蔵）



A



B



C



D



E



F



G

— 北条政子展 関連イベント —

企画展

「没後八〇〇年 北条政子 — 鎌倉を生きた女性たち —」
に合わせて、左記のイベントを開催します。

学芸員によるギャラリートーク

開催日／会期中の毎週木曜日 10時30分
募集方法／申込不要

夜間講座①

講座／「くずし字とはじめ — 北条政子の史料をよむ —」
開催日時／令和8年1月30日（金）18時～19時30分
場所／鎌倉歴史文化交流館別館交流室
定員／20名
講師／当館学芸員

夜間講座②

講座／「政治家・北条政子について」
開催日時／令和8年2月20日（金）18時～19時30分
場所／鎌倉歴史文化交流館別館交流室
定員／40名
講師／当館学芸員

募集方法

／e-kamakura.jp及び仕復はがき 定員を上回った場合は抽選 詳細は当館ホームページをご覧ください。



- A 白衣観音図 鎌倉時代 鎌倉市指定文化財（寿福寺所蔵）※1月24日まで
- B 史跡永福寺跡内経塚出土遺物 鎌倉時代 神奈川県指定文化財（鎌倉市教育委員会所蔵）
- C 籬菊螺鈿蒔絵手箱図巻 江戸時代 鎌倉市指定文化財（鎌倉国宝館所蔵）
- D 転法輪鈔 鎌倉時代（国立歴史民俗博物館所蔵）
- E 極楽寺殿御消息 室町時代（国立歴史民俗博物館所蔵）
- F 御成敗式目 室町時代（国立歴史民俗博物館所蔵）
- G 煩焼阿弥陀縁起絵巻（模本） 江戸時代 鎌倉市指定文化財（光触寺所蔵）